

2020年1月7日

『マルチマテリアル研究拠点第2回シンポジウム』を開催しました

2020年1月7日(火)、東北大学東京分室にて『マルチマテリアル研究拠点第2回シンポジウム』を開催し、約50名の方にご参加いただきました。本学の理事・副学長である青木孝文教授と、マルチマテリアル研究拠点代表の工学研究科岡部朋永教授からご挨拶を頂戴し開会しました。

続いて、名古屋大学ナショナルコンポジットセンターの石川隆司特任教授、NEDO 材料・ナノテクノロジー部の吉木政行氏、経済産業省の沼本和輝氏よりご挨拶をいただきました。



岡部朋永教授(マルチマテリアル研究拠点代表)



青木孝文 東北大学理事・副学長(企画戦略総括担当)

はじめに、岡部朋永教授から「マルチマテリアル研究拠点のこれまでの状況と今後の展開」と題する包括的なお話をいただいた後、『NEDO 先導研究プログラム プロジェクト紹介』のセッションに移り、大林茂教授(流体科学研究所)による「プロジェクト概要の紹介」、白須圭一准教授(工学研究科)による「ホットプレス法による熱硬化性 CFRP/チタン合金接合体の作製」、平田泰久教授(工学研究科)による「マルチマテリアル化に向けた3Dプリンターマニピュレーション技術開発」、松崎亮介准教授(東京理科大学理工学部)による「3Dプリンティングによる熱可塑性 CFRP/チタン合金接合体実現に向けた研究開発」と題するご講演をいただき前半を終了しました。



講演/大林茂教授



講演/白須圭一准教授



講演/平田泰久教授



会場の様子

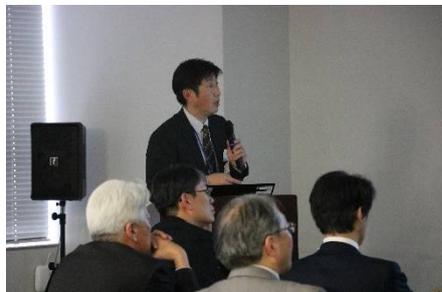


講演/松崎亮介准教授

休憩をはさみ、後半は『企業からの要望と期待』をテーマに、「ハイブリッド接合技術」と題して、東レ(株)の西崎昭彦氏より、「セイコーエプソンの商品群とマルチマテリアル化への期待」と題して、セイコーエプソン(株)の小林豊氏より、「航空機内装品の現状と課題」と題して、(株)ジャムコの大栗強氏より、それぞれご講演をいただきました。各企業から頂戴しましたご意見・ご要望に対して、大学側の意見が述べられ、産学の活発な討議が行われました。



講演/西崎昭彦氏



講演/小林豊氏



講演/大栗強氏

最後に特別講演として、千葉晶彦教授(金属材料研究所)より「マルチマテリアル化に向けた金属積層造形技術と表面形態制御」と題するご講演と、STUDIO NIJI の勝目祥二氏より「・・・とデザイン」と題するご講演をいただきました。



講演/千葉晶彦教授



講演/勝目祥二氏

年明け早々の開催にも関わらずご来場いただきました皆様のおかげで、盛会のうちに今回のシンポジウムを終えることができました。